

# 人と関わり自然と遊ぶ、新しい暮らし方。

こおりやま広域圏内に移住した方に、この地域の魅力や生活について伺いました。

## 街づくりのこれから、人が自然と集まる場所



郡山市在住 佐藤 哲也 さん

2019年2月築45年の4階建てビルをフルリノベーションし人が集まる新しいまちづくり拠点として「Blue Bird apartment」がオープンしました。「単純に部屋があるからアパートという訳ではなく、ビル内が昔の団地の様に、人のエネルギーに満ち溢れ、活気が漲るようになれば良いな」との思いからアパートメントと名付けました。入居する方々が作り出す創造性や遊び心から、また新しいコミュニティが生まれ、それが仕事に派生したり、ここが一つの社会になっているような場所にしたかった」という代表の佐藤さん。2拠点での活動について「東京も福島も関係ないと思っています。単純に活動するフィールドが広がっているという感覚です。もちろん出身地の福島は必要な活動場所ですが、一日のスタートをどちらで切るかというだけです」と話します。



福島について尋ねると「昔は特に、僕は福島県出身だとスクリリ言えない、モヤッとした感じがあったように思います。東京では差別化や新規性を求めて他者との違いをどう作るかだけを求めやってきました。そんなとき、これから開拓すべき場所というか、まだ開かれていない場所で新しいことをするならどこだろうと考えたときに、福島に戻ることを決めました」とのことです。地域との繋がりについて「やりたいこと、目指すべきビジョンを持って、地元の人や書店さんやパン屋さんに相談すると、じゃあ一緒にやろうよ」となります。これまでに培ってきた繋がりを、世の中の為にどう活かして、どう役立てられるかというお互いの気持ちで突破口になる」と話します。最後に移住を考えている方へのメッセージ。「ここはいろいろなものが集まったチャレンジの場所です。それをブルーバード独自のスタイルに変えていくことにクリエイティブがあると思います。少しずつですが、地域の人たちがとみんな何かをやりたい、開拓していきたくて考えています。まちづくりは、これで完成！という成果が見えにくいのですが、徐々に明確にしていくのと良いですね。地域の人たちが「自分も何かできるかも」という空気を感ぜながら、住んでいる町をみんな楽しんでいきたくていいですね！」

1Fがブックカフェ、2Fが自身のデザイン事務所、3Fがクリエイターに貸し出すオフィス、4FがSnowPeakとコラボした多目的スペースとなっています。

## 肉好き集まれ！本物のBBQも堪能ください



田村市在住 川合 達也 さん

日本バーベキュー協会上級インストラクターの資格を持ち、出張バーベキュー（以下BBQ）で各地を飛びまわる川合さん。BBQの魅力について聞くと「肉を食べると誰もが笑顔になり幸せになれるところ。昔から人の笑顔を見るのが好きでした。現在は肉の専門店の強みを活かし、肉や野菜など外での調理方法などをレクチャーするBBQ教室や、BBQの道具・食材をもって出張調理をする「LIVE BBQ」を行っています。」とのこと。

「参加している人たちが自然の中で、BBQを通じてコミュニケーションが生まれ、笑顔になつていくのがとても楽しいです。私自身農家さんとのつながりができたり、他の地域の人と出会うことが出来ました。」とその醍醐味を語ります。Uターンしたきっかけは「大学3年の就職活動時期に東日本震災が発生しました。東北出身の自分とその他の地域出身の人で震災に対する意識のギャップを感じました。地元への想いが強くなり、卒業後は福島の地方銀行に就職しました。銀行で多くの経営者の話を聞くうちに、家業である精肉店を継ぎたいと



ご興味のある方は<http://livebbq.com>までご連絡ください！

田村市の魅力を伺うと「阿武隈高原の中央に位置しているため、山までの距離がとても近いです。鎌倉岳や移ヶ岳など、1時間弱で山頂に着くので、気軽に登れてリフレッシュできます。」と教えてくれました。最後に移住を考えている方へのメッセージ。「出張をしていて、感じるのは想像以上に移住してきている方が多いことです。そしてみんな面白い人たちです(笑)。一度遊びに来て、交流してみれば、移住に対する意識が変わるのではないかなと思います。みなさんも福島の自然の中で本物のBBQを体験しませんか？BBQのご依頼、お肉のことなら何でもお任せください！」

## 大自然と暮らしの融合 日々チャレンジしています！



猪苗代町在住 石川 諒大 さん

猪苗代町の地域おこし協力隊として活躍する石川さん。「大学4年間を福島県で過ごし、人も環境も自分に合うなと気に入っていました。東京で会社を立ち上げて仕事をしていたのですが、地方にいずれ移住しようと考えていました。そんな時に、知人から協力隊募集案内を紹介されて決意しました」とのことです。今、関わっている業務は、大きく分けて公共不動産活用支援と地域振興の2つ。「あくまでもよそ者目線で、地域の魅力を再発見し地域活性化のために事業を立ち上げていくプロセスにこそ魅力を感じています」と石川さん。猪苗代町のおすすみについて聞くと「猪苗代湖畔を舞台にした、オハラ☆ブレイク」という3日間のイベントがお気に入りです。町内の皆さんが協力して出店する猪苗代☆食堂をお手



伝いして、たくさんの方と関わる事ができました」と石川さんは言います。実際に猪苗代町に住んでみて驚いたことは「道路にサルやシカがいることには驚きました。その分、大自然の中で暮らしているという事実を改めて実感したそうです。今の仕事について伺うと「一緒に挑戦してくれる仲間を絶賛募集中です。空き施設を使って事業をやりたい方、地域課題を解決するロボット製作子供たちが自由に学びたいことにチャレンジできるサードプレイスを整える活動、撮影誘致など、幅広い事をやっていますので、興味のある方はぜひお声がけください！」とのこと。最後に「これから移住を考えている方へのメッセージ「移住を考えているということは、今住んでいる場所では満たせない、何かを求めているのだと思います。何かを見つけていくのは難しいので、直感で行動してみるのも良いかも知れません(笑)」。

大自然の中で、自分のやりたいことを探し行動する毎日を通す石川さんの姿に、力強さと充実感を感じました。

## 素敵なログハウスで田舎料理のおもてなし



小野町在住 國分 信秋 さん 久美子 さん



「小野町は夏井千本松、高柴山、矢大臣山など魅力が多く、地元の人には当たり前かもしれないですが、大変魅力的な財産だと思えます」と話す國分さんご夫婦。小野町の「ふるさと暮らし支援センター」が開催した移住セミナーに参加後、現在お住まいの天井の高いログハウスの物件に出会ったことがきっかけで移住。2018年12月には農家民宿をオープンしました。「ここへ来る前は、人や土地に馴染めるの不安がありました。ただ、実際にこの物件を見たときに、農家民宿やカフェを開くことへの夢が広がりました」とのことです。「収入面での不安は確かにありますが、その他の面では夢を持っていけば進んでいけると思います。今後は移住を考えている方へ、田舎暮らしの楽しみ方、移住後の生活、など何かお知らせてできれば」と考えています。現在は、ご自身もふるさと暮らし支援センターに所属し、移住希望者の相談対応などもしています。移住して驚いた事はありますかと聞くと、「今住んでいる集落のお祭りには女性や子どもたちだけで催される、地藏祭り」というものがあり驚きました。そのお祭りが、地域の方々と知り合う機会になり嬉しかったです」と奥様。「インシシに畑を荒らされたり、池の周りに並べた石を荒らされたり泣きたくありません。結果的に新しい家族の愛犬さくらを迎えるきっかけとなり、インシシ被害もだいぶ減りました(笑)」とのこと。最後に「これから移住を考えている方へのメッセージ「目的や、やりたいことを明確にして移住することをおすすめします。また、交通手段やテレビ・携帯電話の電波受信状況など、妥協なく検討したほうが良いと思います。実際、共同アンテナの工事が必要でした。また今後について「農家民宿では農業体験やトレーニングなど、楽しんでいただける体験メニューを用意しています。季節の野菜や山菜を使った田舎料理でおもてなしさせていただきますのでぜひお越しください！」と笑顔で話してくれました。